

Makuhari's Memory

9日間を振り返って、監査、感謝！

令和4年1月17日から25日までの9日間、「監査事務②」を受講させていただきました。折しも、新型コロナウイルス感染症の第6波の真っ只中、期待と不安を抱えながらの入寮となりました。開講オリエンテーション時に担当教授の方から、当初45名が参加するところ、18名になったことを知らされました。さまざまな思いが交錯する中、研修生活が静かに幕を開けました。

2日目からは本格的な研修が始まり、監査の制度的なものから定期監査など実務的な内容まで、多岐にわたるカリキュラムを受講できました。監査1年目の私にとっては、身になる内容が多く、とても有意義なものとなりました。特に印象に残ったのは、「監査は役所の主治医」という言葉でした。監査は、事務上の間違い（病状）があれば、大事（大病）になる前に改善（治療）するのが役割という趣旨で、何か吹っ切れた思いでした。また、グループ演習では、時に楽しく時に真剣

に討議を重ねました。そして最終日、グループに分かれての成果発表を終え、研修の締めくくりとなりました。

今回、思うような交流ができなかった部分は少し残念ではありましたが、受講生全員が節度を保ち、楽しく過ごすことができました。このような大変な状況の中、お世話になった講師、関係者の方々、そして、ある講師の方曰く、「勇者」こと受講生メンバーのみなさん、本当にありがとうございました。



遠藤 崇広

愛知県大府市
監査委員事務局主幹
〈受講研修科目〉
監査事務
第35期第2組（令和3年度）